

小学校第3学年 国語科学習指導案

日 時 平成27年6月19日（金）2校時
指導者 教育センター所員 山内 ともこ

1 単元名 聞いてくれてありがとう

参考教材名 「話したいな、うれしかったこと」（東京書籍 3年上）
「よい聞き手になろう」（光村図書 3年上）

2 単元について

(1) 児童観

本学級の児童は、これまでに自作のクイズを出し合ったり、宝物を見せて紹介し合ったりする学習をしてきており、相手に応じて、話す事柄を順序立て、言葉遣いや話す速さなどに気を付けて話したり、大事なことを落とさないようにしながら聞いたりすることはできるようになってきている。また、学校全体で「話し方かきくけこ」「聞き方あいうえお」の話型・聴型に沿った話し方や聞き方の学習に取り組んでおり、相手を見て話したり聞いたりすることなどはできている。しかし、相手の言いたいことや自分の聞きたいことに気を付けて聞いたり、質問をしたり感想を述べたりしながら聞くことは、本単元が初めてとなる。

事前調査の結果から、「学校で自分のことを話したり、調べたことを説明したりするのが好きですか」の問いに肯定的な回答をした児童は66%で、「学校で友達や先生の話の話を聞いたり説明を聞いたりするのは好きですか」の問いに肯定的な回答をした児童は86%であった。また、話をするときや話を聞くときに気を付けていることについては、「声の大きさ、姿勢、ゆっくり話す、相手を見る」など、全員が低学年で身に付ける「話すこと・聞くこと」の能力を記述できていた。

(2) 教材観

本単元では、第3学年及び第4学年「話すこと・聞くこと」の指導事項「エ 話の中心に気を付けて聞き、質問をしたり感想を述べたりすること。」を重点的に指導する。

教材「話したいな、うれしかったこと」（東京書籍 3年上）は、話したい事柄を選び、筋道を立てて話すことと、話し手が伝えたいことは何かを考えながら聞くことをねらいとしている。生活の中でうれしかった経験のスピーチをする際、聞き手に話したいことの中心が伝わるように、筋道を立てて話す工夫として組立メモを作成することや、聞き手に分かるスピーチをするために声の大きさや速さなどに気を付けること、また、話し手が伝えたいことは何かを考えながら聞くことよきに気付くことができる教材である。

教材「よい聞き手になろう」（光村図書 3年上）は、話の中心に気を付けて聞き、質問をしたり、感想を述べたりすることをねらいとしている。よい聞き手について考え、互いに友達の話の聞き合い、質問したり感想を述べ合ったりする中で、自分の聞き方を振り返り、よりよい聞き手になろうとするよきに気付くことができる教材である。

これらの教材を取り入れた学習は、自分の思いのままに聞いたり話したりするのではなく、聞き手と話し手が互いの立場を意識し、聞く目的や話す目的をもって言語活動に取り組む3年生に適していると考えられる。

(3) 指導観

本単元では、「スピーチを聞いて、質問したり、感想を言ったりしよう。」（「話すこと・聞くこ

と」の言語活動例ア) という言語活動を単元に位置付けて、以下のような手立てを取りながら指導を行う。

第一次では、児童自身がそれまでの自分の聞き方を振り返ったり、聞き方が上手な友達を見付けたりしていく。自分も友達のように聞き方が上手になりたいという気持ちを喚起させた上で、『聞いてくれてありがとう』と思われる聞き手になろう」という学習課題を設定する。3回のスピーチゲームを通して、よりよい聞き手を目指していくという活動の流れを確認し、学習の計画を立て、見通しをもたせる。

第二次では、スピーチゲームを3回行う。スピーチゲームでは、聞き手が感想を述べたり質問したりしたくなるような内容を取り入れ、聞くこと的能力を育てていく。話し手に感想を述べたり質問したりするために、聞き手は、話している事柄の順序、話し手が一番伝えたいことは何か、自分だったらどうするかなどを考えながら聞かせるようにする。また、話し手の立場に立ち、聞き手を評価することで、聞き手の立場を明確に意識するようになり、自分も〇〇さんのようなよい聞き手になりたいと目指すゴールの姿がよりはっきりしてくるであろう。

第三次では、それまでに身に付けた聞くこと的能力を、活用させていく。

全ての学習時間の終末に振り返りの時間を位置付け、「聞いてくれてありがとう」と思わせてくれた友達を見付け、どのようなところがよかったのかを振り返りカードに書かせていく。また、自分が「聞いてくれてありがとうと思われる聞き手」にどのくらい近付いているかを自己評価し確認して、いつも目指すゴールの姿を意識させる。単元を通して、「聞いてくれてありがとう」をキーワードに、聞き手の姿を意識付けることで、よい聞き手、よい話し手になろうとする態度が育つことを期待する。

3 単元の目標

話の中心に気を付けて聞き、質問をしたり、感想を述べたりすることができる。

(「話すこと・聞くこと」エ)

4 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての 知識・理解・技能
・友達のスピーチを自分の経験や考えと比べながら聞き、質問したり感想を述べたりしようとしている。	・自分の聞きたい中心的な事柄について、分からない点を質問したり、感想を述べたりしている。(エ) ・スピーチの順序や話の組み立て方を意識しながら、話の要点を聞き、自分の経験や考えと比べるなどして、質問したり感想を述べたりしている。	・言葉には、自分の思考や感情を表す働きがあることに気付いて、話したり聞いたりしている。(イ(ア))

5 指導と評価の計画 (全5時間)

次	時	学習活動	指導上の留意点	評価規準と 評価方法
一	1	○今までの話し方や聞き方を振り返り、「聞	・事前調査の結果を基に、それまでの自分の聞き方を振り返らせる。	【関】自分自身や友達の聞

		<p>いてくれてありがとうと思われる聞き手になろう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの中で、聞き方の上手な友達を見付け、自分も上手になりたいという意欲をもたせる。 ・全身のどこを使って聞いているのかを絵を用いて確認させる。 <div data-bbox="630 376 1177 600" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>予想される児童の反応 「聞き方あいうえお」からの反応 目…相手を見て，耳…聞く，首…傾きながら 顔…笑顔で，へそ…へそから相手を見る 頭…考えながら，心…気持ち</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「聞いてくれてありがとうと思われる聞き手」になることを目指して学習を進めることを確認し、学習計画を立てさせる。 ・目指す聞き手の姿を想像させる。 <div data-bbox="630 779 1177 913" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【目指す聞き手の姿】 話し手が一番話したいことに気を付けて，聞くことのできる聞き手</p> </div>	<p>き方に関心を持ち，よい聞き手になりたいという意欲をもっている。 (学習の様子の観察・振り返りカードの記述)</p>
二	2	<p>○スピーチゲーム1 「反応有り・無しゲーム」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチゲーム1「反応有り・無しゲーム」に取り組みせ、授業実施校の「聞き方あいうえお」のよさを再確認させる。 ①「今までで、一番うれしかったこと」というテーマでスピーチ原稿を書き、ペアを作り、スピーチをする。 ②聞き手は何も反応しない。話し手と聞き手の役割を交代する。 ③話し手としての感想を書く。 ④ペアを代えて、聞き手は「聞き方あいうえお」に沿って、反応する。 ⑤話し手としての感想を書く。 <div data-bbox="630 1460 1177 1729" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【聞き方あいうえお】 あ…あいてを見て い…いっしょうけんめい う…うなずきながら え…えがおで お…おわりまで聞く</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・話し手としての感想を発表させる。 ・話し手にとって聞き手の反応が大切であることを確認させる。 ・聞き手の反応として、態度の反応だけでなく、言葉のはたらきを知り、言葉での反応も大切であることを確認させる。 ・目指す聞き手の姿を確認させる。 	<p>【知・理・技】言葉には、自分の考えや感想などを表す働きがあることに気付いている。 (振り返りカードの記述)</p>

		<p>【目指す聞き手の姿】 話し手が、話してよかったと思えるような反応をしながら聞くことのできる聞き手</p>	
3	<p>○スピーチゲーム2 「感想ゲーム」</p>	<p>・スピーチゲーム2「感想ゲーム」に取り組ませる。</p> <p>①教師が、話し手となりスピーチのモデルとして、児童に向かってスピーチをする。</p> <p>②児童は聞き手となり、ワークシートに感想を書く。</p> <p>③感想を発表し合い、どんな感想がよい感想なのかを話し合う。</p> <p>④スピーチのモデル文を参考に、「私の好きな給食のメニュー」というテーマでスピーチ原稿を書く。</p> <p>⑤ペアになり、スピーチをし、感想を述べ合う。</p> <div data-bbox="598 875 1193 1413" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【スピーチのモデルと目指す聞き手の感想の例】</p> <p>○スピーチのモデル 「私の1番好きなメニューは、から揚げです。2番目はスパゲティです。私は、好きなものを先に食べたくになります。」</p> <p>○目指す聞き手の感想例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「から揚げは、僕の1番好きなメニューと同じだね。」 ・「私は、スパゲティが1番で、から揚げは2番目です。似ているね。」 ・「どちらもおいしくて、人気のあるメニューだね。」 ・「好きなものを先に食べるんだね。私は後に取っておきたくなるよ。」 </div> <p>・話し手は、感想を言ってもらうことで、一番言いたかったことが伝わったのか、聞き手はどのように思ったのかなどが確認できる。聞き手は、「聞き方あいうえお」に加えて、言葉で反応することが大切であることを確認させる。</p> <p>・話し手にとって、話の中心に触れる感想や聞き手と比較して述べられた感想、スピーチの中の大切な言葉が使われた感想などがよい感想であることを確認させる。</p> <div data-bbox="598 1868 1193 2042" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【目指す聞き手の姿】 話し手が一番話したいことにそって、大切な言葉を使ったり、自分だったらどうかと考えたりしながら、感想を述べることのできる聞き手</p> </div>	<p>【話・聞】話の要点を聞き、自分の経験や考えと結び付けて、感想を述べている。 (学習の様子 の観察・振り返りカードの記述)</p>

<p>4 本 時</p>	<p>○スピーチゲーム3 「話し手が○○になる質問をしよう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチゲーム3「話し手が○○になる質問をしよう」に取り組ませる。 ・○○の中に入る言葉を考えさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【予想される児童の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話し手が(笑顔)になる質問」 ・「話し手が(もっと話したい気持ち)になる質問」 ・「話し手が(質問されてうれしく)なる質問」 </div> <ol style="list-style-type: none"> ①教師が、話し手となりスピーチのモデル文を読み上げ、児童に向かってスピーチをする。 ②児童は聞き手となり、話し手に質問をする。 ③前時の感想の学習を想起させ、どんな質問がよい質問なのかを話し合う。 ④「私の好きな教科」というテーマで、スピーチ原稿を書き、3人グループを作り、スピーチをする。 ⑤聞き手は、質問をする。 ⑥話し手を交代して、繰り返す。 ⑦質問をされることで、話し手はどういう気持ちになるのかをグループで話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・話し手としての感想を発表させる。 ・話し手が笑顔になる質問や、もっと話したくなる質問とはどのような質問なのかを考えさせる。 ・話し手は、質問をしてもらうことで、自分が一番話したかったことが明確になり、聞き手は、もっと詳しく聞きたいことや分からなかったことが明確になることを確認させる。 ・話し手にとって、一番話したかったことを引き出してくれた質問がよい質問であることを確認させる。 ・スピーチ中の大切な言葉を使ったり、「なぜ」「どうして」「どのように」などを使って話の内容を詳しく引き出したりする質問がよい質問であることを確認させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【目指す聞き手の姿】</p> <p>話し手が一番話したいことにそって、話を引き出すための質問をすることができる聞き手</p> </div>	<p>【話・聞】話の要点を聞き、自分の経験や考えと比べるなどして、質問している。(学習の様子の観察・振り返りカードの記述)</p>
----------------------	--	---	---

三 活 用	5	<p>○今まで学習してきたことを活かして、「聞いてくれてありがとう」と思われる聞き手を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3人グループでスピーチを聞き合わせる。 ①「できるようになりたいこと」というテーマで、スピーチ原稿を書き、3人グループで順番にスピーチを行う。 ②聞き手は、今まで学習したことを積極的に使い、よい聞き手となって、感想を述べたり、質問をしたりする。 ③話し手としての感想を書き、グループで感想を交流する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【目指す聞き手の姿】 話し手が一番話したいことに沿った感想や質問を言い、話し手が「聞いてくれてありがとう」と思ふような聞き手</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・話し手にとって、「聞いてくれてありがとうと思う聞き手」について振り返らせる。 ・単元全体を振り返り、「聞いてくれてありがとう」と思われる聞き手にどれくらい近付いているかを自己評価させたり、単元を通して「聞いてくれてありがとう」と思わせてくれた友達を見付けさせたりする。 	<p>【関】 話の要点を聞き、聞き手として今まで学習してきたことを使って、感想を述べたり、質問をしたりしようとしている。(学習の様子の観察・振り返りカードの記述)</p> <p>【話・聞】 話の要点を聞き、聞き手として今まで学習してきたことを使って、感想を述べたり、質問をしたりしている。(学習の様子の観察・振り返りカードの記述)</p>
-------------	---	---	---	---

5 本時の計画 (4/5)

(1) 目標

○話の要点を聞き、自分の経験や考えと比べ、話し手が一番話したいことに沿った質問をすることができる。

(2) 指導の視点

○前時の学習の振り返りを本時の意欲付けに活かしていく。振り返りカードに書かれた「聞いてくれてありがとう」と思わせてくれた児童とその理由を紹介する。また、児童自身が単元や1時間の授業を通して「聞いてくれてありがとうと思われる聞き手」を目指し、見通しをもって学習することを指導の視点とする。

(3) 展開

学習活動	指導上の留意点 (○) 及び評価 (◇)
<p>1 前時の学習を、振り返りカードを用いて振り返る。</p> <p>2 学習のゴールをイメージして、本時のめあてを確認する。</p>	<p>○前時の振り返りカードの記述の中で、話し手の立場の気付きや感想を紹介する。</p> <p>○前時の「聞いてくれてありがとう」の児童を紹介し、話し手がその児童をどのように評価したのかも併せて紹介する。</p> <p>○学習計画を確認して、本時のめあてを知らせることで、学習のゴールとなる聞き手の姿についてイメージさせる。</p>
<p>3 スピーチゲーム3を行う。</p> <p>(1) 「話し手が○○になる質問をしようゲーム」を行うことを知る。</p>	<div data-bbox="360 555 1134 674" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>「聞いてくれてありがとう」と思われる聞き手を目指す その3 質問をしよう。</p> </div> <div data-bbox="655 725 1431 862" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【目指す聞き手の姿】 話し手が一番話したいことにそって、話を引き出すための質問をすることができる聞き手</p> </div> <p>○スピーチゲームのテーマや進め方を確認させる。</p> <p>○「話し手が○○になる質問をしようゲーム」の○○にはどんな言葉が入るのかを考えさせる。</p> <div data-bbox="655 1021 1431 1234" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【予想される児童の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話し手が(笑顔)になる質問」 ・「話し手が(もっと話したい気持ち)になる質問」 ・「話し手が(質問されてうれしく)なる質問」 </div> <p>○スピーチのモデル文を使って、児童が予想した「話し手が○○になる質問」はどんな質問なのかを考えさせる。</p> <p>○教師が話し手のモデルとして、そのスピーチに対して聞き手である児童が質問をする。</p> <div data-bbox="655 1420 1431 2042" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【スピーチのモデルと予想される聞き手の質問】</p> <p>「私の好きな勉強は、図工です。わけは、粘土で動物を作るのが得意だからです。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「○○さんは、いつもとても上手に作っているからうらやましいです。どんな動物をよく作りますか。」 →感想と併せた質問 ・「ぼくも図工は好きです。でも、粘土は苦手です。上手に作るコツは何ですか。」 →自分のことと比べた質問 ・「今まで、どんな動物を作ったのですか。」 「これから、どんな動物を作りたいですか。」 ・「なぜ、動物を作っているのですか」 ・「粘土のどういうところが気に入っていますか。」 →話を引き出す質問 </div>

<p>(2) 「私の好きな教科」というテーマで、スピーチ原稿を書く。</p> <p>(3) 3人組になって、聞き手は感想と併せて質問を述べる。</p> <p>(4) 話し手と聞き手の役割を交代する。</p> <p>4 話し手としての感想を発表し話し手にとってよい質問とはどんな質問なのかを確認し合う。</p> <p>5 本時を振り返る。</p>	<p>○話し合いで「よい質問」についてまとめさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大切な言葉を用いて、話し手が一番話したい話の中心を捉えて質問する。 ・感想と併せて質問をする。 ・自分と比べて質問をする。 ・「なぜ」「いつ」「どのように」などを用いて、話し手の話を詳しく引き出す質問をする。 <p>○モデル文に合わせてスピーチ原稿を記述させる。</p> <p>○スピーチ原稿を書き終えた児童には、音声練習をさせる。</p> <p>○聞き手には、前時に学習した感想の述べ方を思い出させ、感想と併せて質問をさせる。</p> <p>○全員が話し手、聞き手のどちらの立場も経験させる。</p> <p>○話し手としての感想（質問をされてどんな気持ちだったか）を記述させる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>◇ 評価【話・聞エ】</p> <p>話の要点を聞き、自分の経験や考えと比べるなどして、質問している。</p> <p>〔学習の様子を観察・振り返りカードの記述内容〕</p> <p>Aの状況：話の要点を聞き、自分の経験や考えと比べて感想を述べたり、質問したり、聞き返したりすることができる。</p> <p>Bの状況：自分の経験や考えと比べ、分からない点やもっと詳しく聞きたい点を質問することができる。</p> <p>また、Aの状況の友達よりよい聞き方をモデルに、質問の仕方や内容を工夫するように支援する。</p> <p>Cの状況と判断される場合の支援</p> <p>：質問や感想を考えることができなかった児童には、前時の振り返りカードや掲示物等を使って個別に支援する。</p> </div> <p>○話し手が笑顔になる質問やもっと話したくなる質問とはどんな質問だったのかを話し合わせる。</p> <p>○話し手は、質問されることで、話したいことの中心が明確になることや話す意欲が高まることを確認させる。</p> <p>○「今日の『聞いてくれてありがとう』の友達を見付けさせる。話し手として、その友達のどんな聞き方がよかったのかを記述させる。</p> <p>○目指す聞き手の姿にどのくらい近付いているかを自己評価させる。</p>
--	--

6 次時の学習について知る。

○よい聞き手になるために、これまでの学習で学んだことや身に付いたことを、自分で判断して使っていく単元のまとめの時間になることを知らせる。「聞いてくれてありがとうと思われる聞き手」を常に意識して学習していくことを確認させる。